

山形県における高齢者の現状と将来推計

第1 人口の高齢化

1 高齢化の現状

- H27国勢調査によると、平成27年10月1日時点の県内の高齢者（65歳以上）人口は344,353人、高齢化率は30.8%となっています。
- 「山形県の人口と世帯数（県みらい企画創造部）」によると、令和元年10月1日時点で、高齢者数は358,498人、高齢化率は33.4%となっており、H27国勢調査時点よりもさらに高齢化が進んでいます。また、総務省人口推計によると、本県の高齢化率（33.4%）は全国平均（28.4%）を大きく上回り、全国第6位の高齢県となっています。

都道府県別人口、老年人口及びその割合

都道府県名	総人口	老年人口 65歳以上	うち		構成比 65歳以上	高齢化率 順位
			65～74歳	75歳以上		
全 国	126,167	35,885	17,395	18,490	28.4	
北 海 道	5,250	1,673	820	853	31.9	20
青 森 県	1,246	415	201	214	33.3	7
岩 手 県	1,227	406	188	218	33.1	8
宮 城 県	2,306	652	323	330	28.3	38
秋 田 県	966	359	166	194	37.2	1
山 形 県	1,078	360	167	193	33.4	6
福 島 県	1,846	582	282	300	31.5	21
茨 城 県	2,860	843	427	416	29.5	33
栃 木 県	1,934	554	286	268	28.6	37
群 馬 県	1,942	580	285	294	29.9	30
埼 玉 県	7,350	1,961	991	970	26.7	42
千 葉 県	6,259	1,743	872	871	27.8	40
東 京 都	13,921	3,209	1,517	1,692	23.1	46
神 奈 川 県	9,198	2,329	1,132	1,197	25.3	44
新 潟 県	2,223	720	342	378	32.4	13
富 山 県	1,044	337	161	177	32.3	14
石 川 県	1,138	337	165	172	29.6	32
福 井 県	768	235	111	124	30.6	25
山 梨 県	811	250	118	132	30.8	24
長 野 県	2,049	653	297	356	31.9	19
岐 阜 県	1,987	599	290	309	30.1	28
静 岡 県	3,644	1,089	527	562	29.9	29
愛 知 県	7,552	1,892	933	959	25.1	45
三 重 県	1,781	530	252	278	29.8	31
滋 賀 県	1,414	368	184	184	26.0	43
京 都 府	2,583	753	360	393	29.2	35
大 阪 府	8,809	2,434	1,171	1,263	27.6	41
兵 庫 県	5,466	1,591	773	818	29.1	36
奈 良 県	1,330	417	202	215	31.4	22
和 歌 山 県	925	306	143	163	33.1	9

(単位:千人、%)

都道府県名	総人口	老年人口 65歳以上	うち		構成比 65歳以上	高齢化率 順位
			65～74歳	75歳以上		
鳥 取 県	556	178	84	94	32.0	16
島 根 県	674	231	106	125	34.3	4
岡 山 県	1,890	573	270	303	30.3	26
広 島 県	2,804	823	399	423	29.4	34
山 口 県	1,358	466	220	246	34.3	3
徳 島 県	728	245	118	127	33.7	5
香 川 県	956	305	147	157	31.9	18
愛 媛 県	1,339	442	211	231	33.0	10
高 知 県	698	246	114	132	35.2	2
福 岡 県	5,104	1,425	712	713	27.9	39
佐 賀 県	815	246	119	127	30.2	27
長 崎 県	1,327	433	209	225	32.6	12
熊 本 県	1,748	543	255	287	31.1	23
大 分 県	1,135	373	177	196	32.9	11
宮 崎 県	1,073	346	166	180	32.2	15
鹿 児 島 県	1,602	512	241	271	32.0	17
沖 縄 県	1,453	322	163	159	22.2	47

資料:総務省「人口推計」(令和元年10月1日現在)

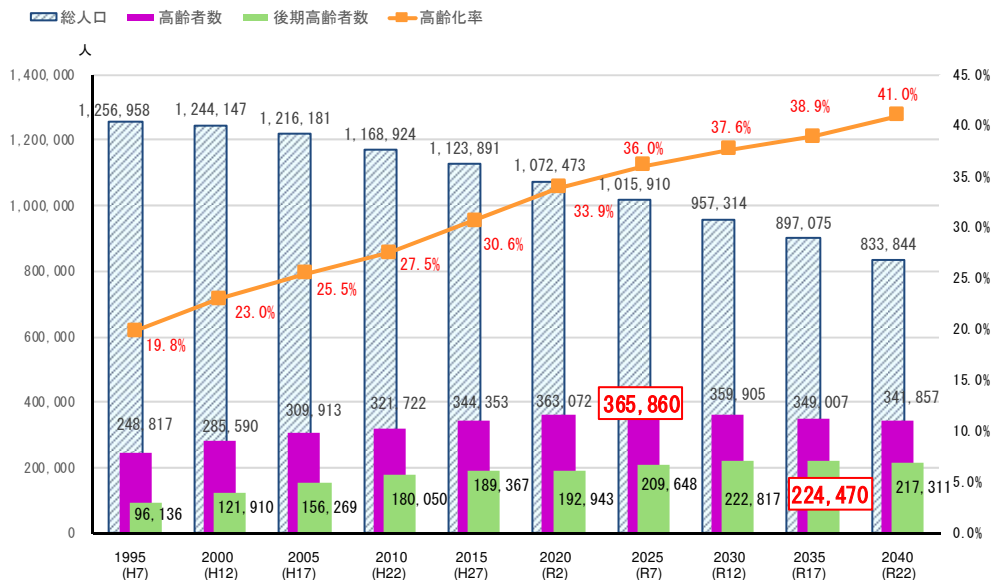
注)単位未満は四捨五入してあるので、合計の数字と内訳の計は必ずしも一致しない。

2 高齢化の推移・今後の見込

- 本県の65歳以上の高齢者数のピークは令和7年の365,860人と推計されており、その後、緩やかに減少していくことが推計されています。また、後期高齢者（75歳～）は令和17年の224,470人がピークとなる見込みです。

なお、年少人口、生産年齢人口の減少が進むため、結果として高齢化率は上昇を続け、令和22年（2040年）時点では総人口の4割程度が高齢者となる見込みです。

総人口、全高齢者数及び後期高齢者数の推移（山形県）

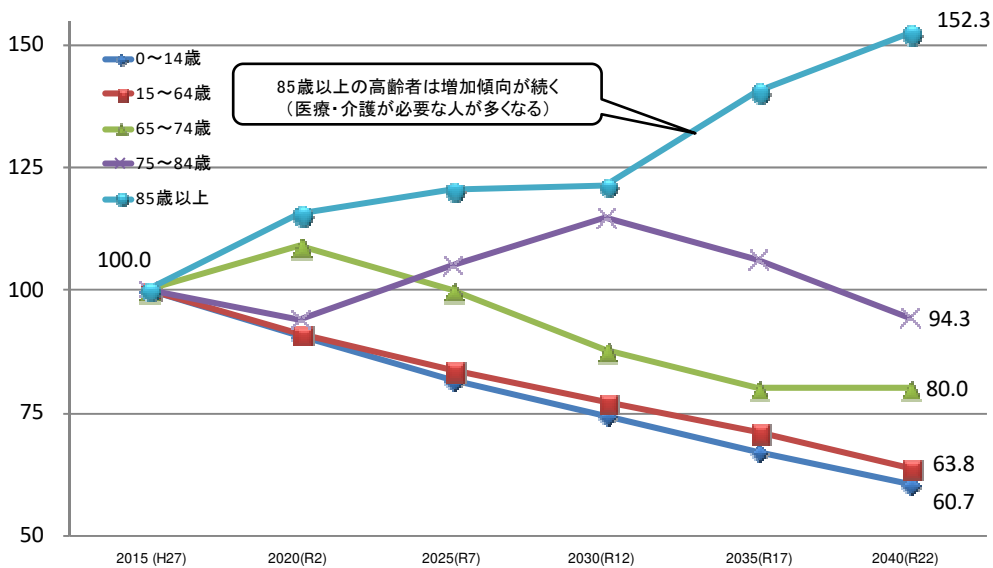


資料：H7～H27「国勢調査」、R2以降「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）

- 年齢階級別人口の伸び率の推移をみると、今後、医療・介護の必要が高まる85歳以上の高齢者の増加傾向が顕著です。

年齢階級別人口の伸び率の推移（山形県）

－2015 (H27) 年を100とした場合－

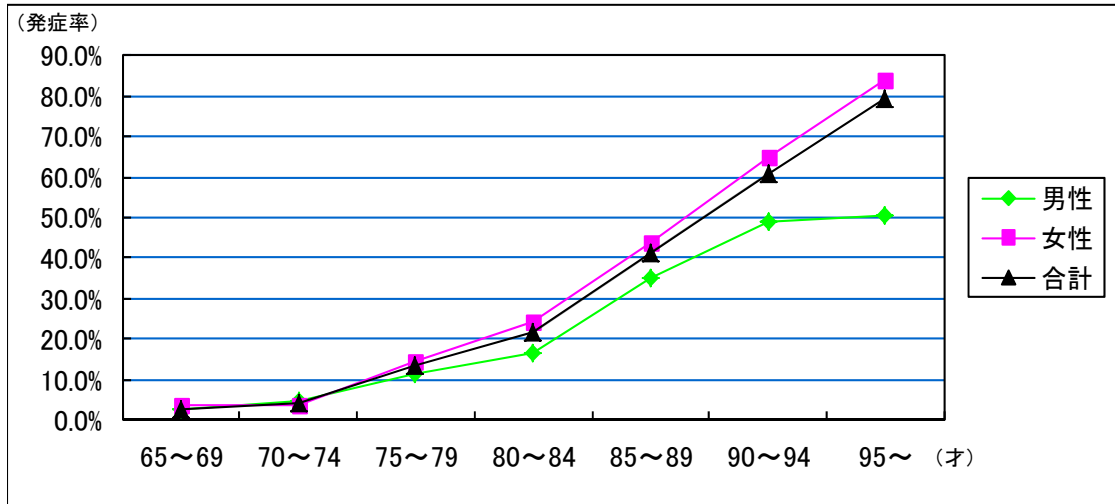


資料：「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）

第2 認知症高齢者

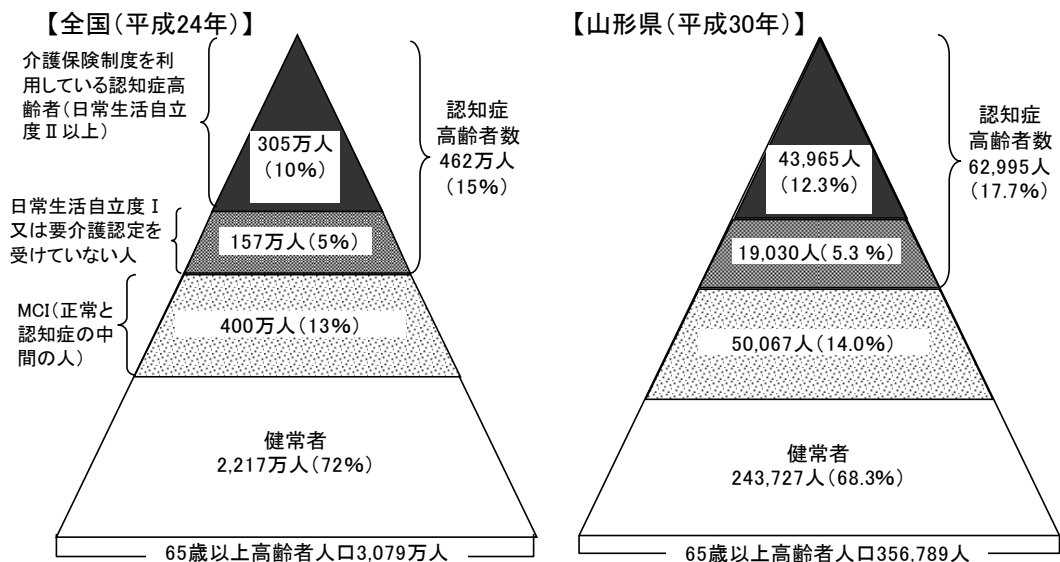
- 厚生労働省の研究事業によると、認知症については、年齢が高くなるほど発症率が高くなる結果となっています。

〔 75～79歳：約1割、80～84歳：約2割、85～89歳：約4割
90～94歳：約6割、95歳～：約8割 〕



資料：朝田隆「都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応」(平成25年3月)

- 認知症の発症率を、本県高齢者の人口構成に当てはめると、認知症と認知症予備軍と言われるMCI（正常と認知症の間の人）を合わせた高齢者数は10万人を超え、本県高齢者のおよそ3人に1人であると推計されています。



資料：全国は、厚生労働省老健局「認知症高齢者の日常生活自立度」(平成24年8月)及び「都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応」(平成25年3月)

山形県の65歳以上高齢者人口は、「山形県の人口と世帯数」(平成30年10月1日現在)

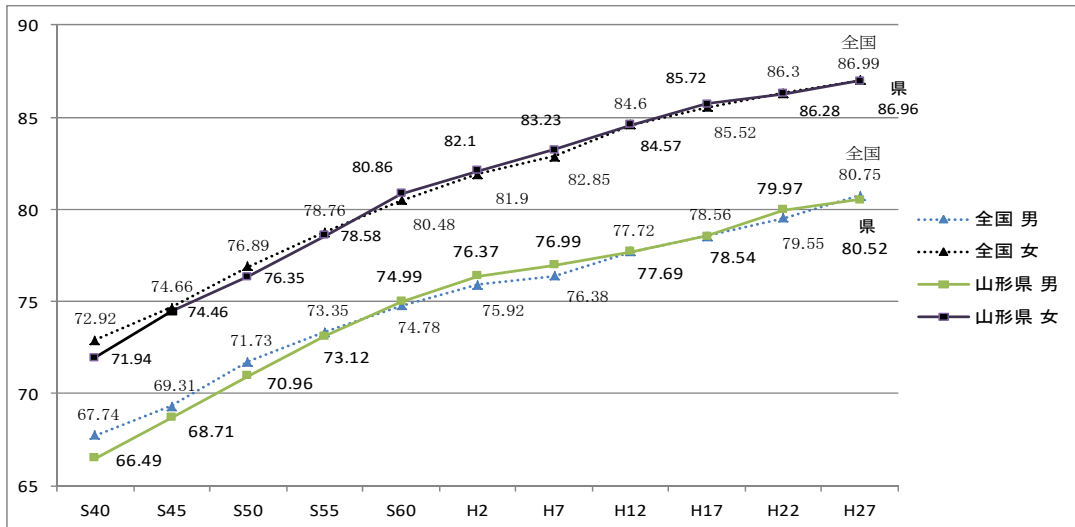
自立度II以上の認知症高齢者数は、山形県長寿社会政策課調べ(平成30年4月1日現在)

MCI・認知症高齢者数は、厚生労働省研究班報告(平成25年6月公表)の有病率による推計

※ 今後、後期高齢者の増加に合わせ、認知症高齢者の増加も見込まれる。

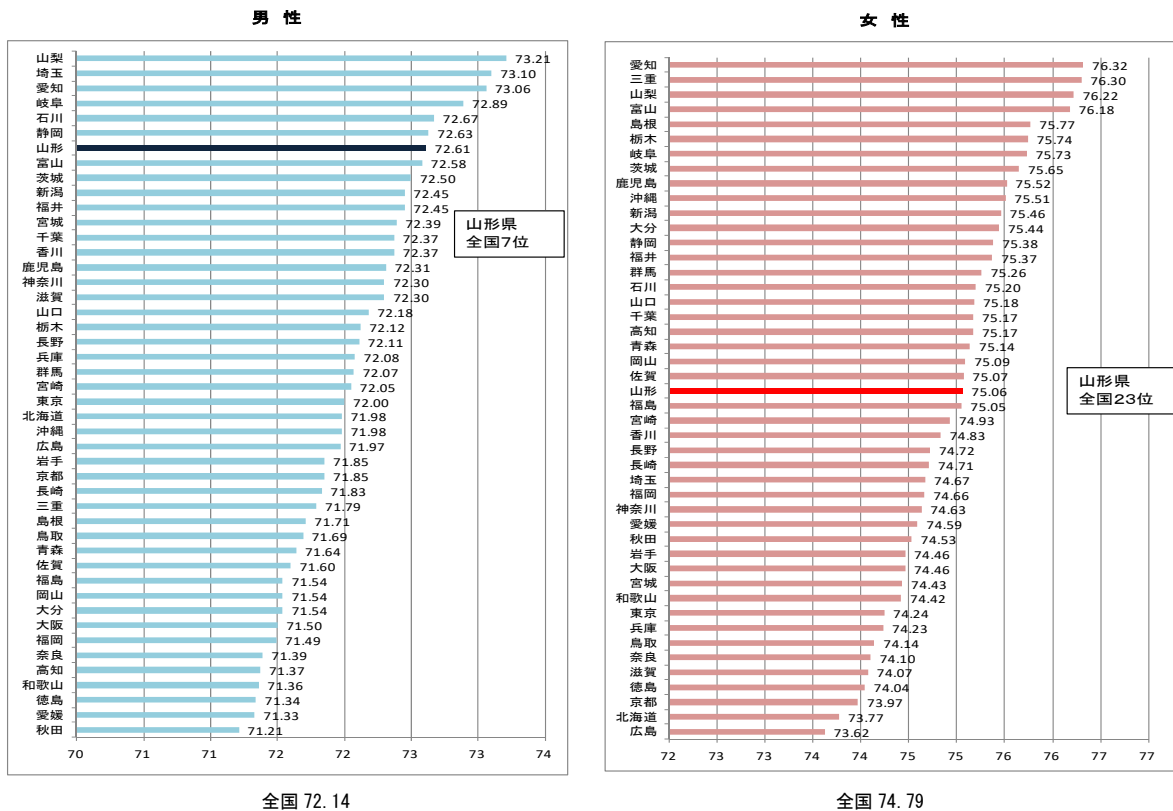
第3 平均寿命・健康寿命

- 本県の平均寿命は、平成27年時点で、男性は80.52歳（全国平均80.75歳、全国第29位）、女性は86.96歳（同86.99歳、同第29位）となっています。
- また、平成30年時点における全国平均は、男性81.25歳、女性87.32歳となっており、男女ともに過去最高を更新している状況です。



資料：厚生労働省「完全生命表」「都道府県別生命表」

- 本県の健康寿命は、平成28年時点で、男性は72.61歳（全国平均72.14歳、全国第7位）、女性は75.06歳（同74.79歳、同第23位）となっています。



出典：厚生労働科学研究費補助金「健康寿命及び地域格差の要因分析と健康増進対策の効果検証に関する研究」

第4 世帯の種類・家族類型

- H27国勢調査における、高齢者の属する世帯の家族類型別をみると、全国では「夫婦のみの核家族」が最も多く、次に「一人暮らし」の順となっています。
- 本県では全国に比べ、一人暮らしの割合が低く、三世帯同居が高い割合となっています。しかし、三世帯同居の割合が、平成22年時点の36.3%から平成27年時点の29.8%まで減少しており、一人暮らし、核家族世帯の増加が進んでいる状況が見受けられます。

高齢者の属する世帯(山形県)

(単位:世帯、%)

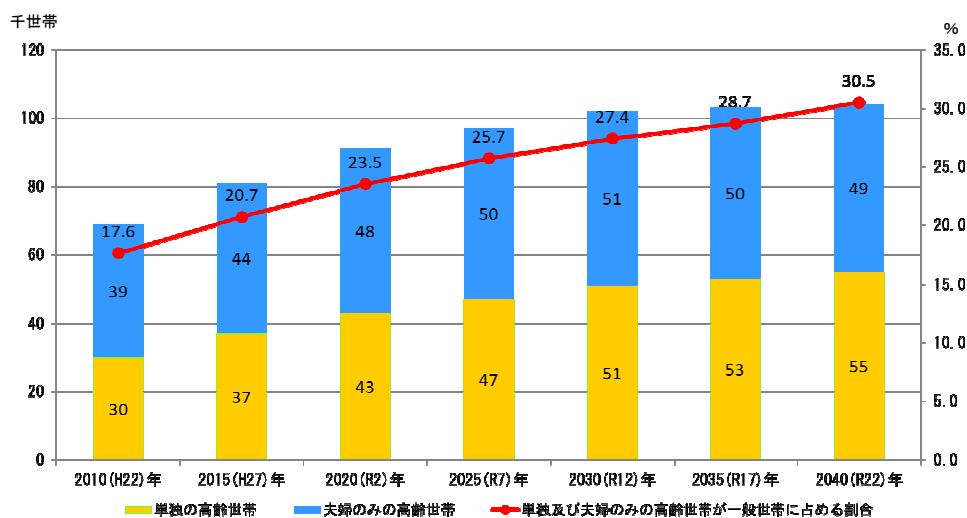
	一般世帯数	高齢者のいる世帯数	親族世帯				非親族世帯	一人暮らし
			核家族世帯		三世帯同居世帯	左記以外の世帯		
			夫婦のみ	親と子				
平成22年	387,682	(52.9) 205,215	(18.8) 38,575	(19.2) 39,502	(36.3) 74,536	(10.8) 22,224	(0.3) 695	(14.5) 29,683
平成27年	392,288	(54.7) 214,421	(20.7) 44,284	(21.8) 46,642	(29.8) 63,812	(10.2) 21,873	(0.4) 857	(17.2) 36,953
《全国》 平成27年 (単位:千世帯)	53,332	(40.7) 21,713	(29.6) 6,420	(24.5) 5,320	(12.4) 2,701	(5.6) 1,213	(0.6) 131	(27.3) 5,928

資料:総務省(総務庁)「国勢調査」

注) 高齢者のいる世帯数の欄の()は一般世帯数に占める割合、内訳の欄の()は高齢者のいる世帯数に占める割合。

- 今後の高齢世帯の推移をみると、単独の高齢世帯数及び夫婦のみの高齢世帯数が増加することが見込まれています。

高齢世帯数の推移(山形県)



資料: H 22. 27については、総務省「国勢調査」。

H 32以降は「日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)」(国立社会保障・人口問題研究所 2019 (H31) 年 4月推計)

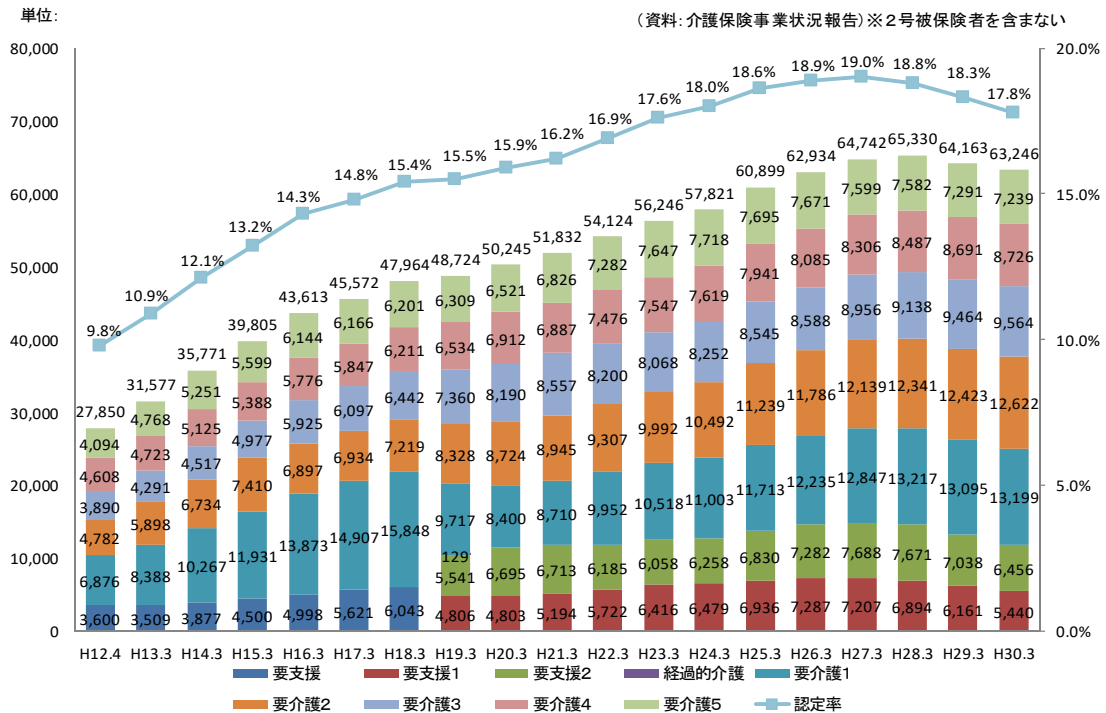
(注1) 高齢世帯とは、世帯主の年齢が65歳以上の世帯をいう。

(注2) 一般世帯とは、病院、社会福祉施設、寮・寄宿舎等を除く世帯をいう。

1

第5 介護保険事業の状況（山形県）

- 本県の平成30年3月時点65歳以上高齢者の要介護認定者数は、制度開始時（H12）の27,850人に比べて、約2.27倍の63,246人となっており、要介護認定率は、H12の9.8%から17.8%と1.82倍に上昇しています。



- 本県の要介護認定率は、平成29年度末（平成30年3月）時点で、全国30番目の位置にあり、全国順位の中下位に位置しています。

都道府県別 第1号被保険者に占める認定者の割合（平成29年度末） (単位：千人)

	認定者数	第1号被保険者数	認定率 (%)	順位		認定者数	第1号被保険者数	認定率 (%)	順位
全国	6,282	34,879	18.0	-	三重県	95	522	18.2	25
北海道	316	1,625	19.4	13	滋賀県	60	357	16.8	38
青森県	74	409	18.1	26	京都府	146	729	20.0	8
岩手県	76	400	19.0	19	大阪府	491	2,353	20.9	2
宮城県	111	619	17.9	29	兵庫県	294	1,540	19.1	16
秋田県	71	355	20.0	9	奈良県	72	409	17.6	32
山形県	63	355	17.7	30	和歌山県	67	307	21.8	1
福島県	108	568	19.0	18	鳥取県	34	174	19.5	12
茨城県	123	818	15.0	46	島根県	47	228	20.6	3
栃木県	84	540	15.6	44	岡山県	114	560	20.4	6
群馬県	96	563	17.1	36	広島県	154	805	19.1	15
埼玉県	275	1,882	14.6	47	山口県	87	462	18.8	21
千葉県	257	1,661	15.5	45	徳島県	48	239	20.1	7
東京都	579	3,098	18.7	22	香川県	58	299	19.4	14
神奈川県	380	2,258	16.8	37	愛媛県	90	437	20.6	4
新潟県	132	708	18.6	23	高知県	46	244	18.9	20
富山県	60	332	18.1	27	福岡県	260	1,364	19.1	17
石川県	56	328	17.1	35	佐賀県	44	239	18.4	24
福井県	40	229	17.5	33	長崎県	87	425	20.5	5
山梨県	38	244	15.6	43	熊本県	106	532	19.9	10
長野県	110	644	17.1	34	大分県	65	367	17.7	31
岐阜県	97	593	16.4	40	宮崎県	57	340	16.8	39
静岡県	167	1,068	15.6	42	鹿児島県	99	501	19.8	11
愛知県	294	1,839	16.0	41	沖縄県	55	306	18.0	28

※数値は、千人未満を四捨五入しているため、計に一致しない倍がある。

資料：厚生労働省 介護保険事業状況報告（年報）

- 本県の介護給付費(実績)は、制度開始時(H12)の406億円から1,089億円(H30)と約2.68倍に上昇しています。それに伴い、65歳以上高齢者が支払う第1号保険料の標準月額(県平均)は2,595円から6,022円(県平均)と2.32倍に上昇しています。また、令和7年には、保険料が全国平均で7,200円まで上昇することが推計されています。

